



平成 30 年 3 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社バロックジャパンリミテッド
代表者名 代表取締役社長 村井 博之
(コード番号： 3548 東証第一部)
問合わせ先 常務執行役員 経営企画室長 池内 秀樹
TEL 03-5738-5775

平成 30 年 1 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 29 年 9 月 14 日に公表した平成 30 年 1 月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 1 月期通期業績予想数値の修正（平成 29 年 2 月 1 日から平成 30 年 1 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 68,842	百万円 3,478	百万円 3,674	百万円 2,208	円 銭 61.14
今回修正予想 (B)	67,952	2,556	2,556	1,236	34.51
増減額 (B - A)	△890	△922	△1,118	△972	
増減率 (%) (B 対 A)	△1.3%	△26.5%	△30.4%	△44.0%	
(参考) 前期実績 (C) (平成 29 年 1 月期)	69,493	5,368	5,385	3,507	108.37

2. 修正の理由

国内店舗事業につきましては、下期において、MOUSSY (マウジー)、ENFÖLD (エンフォールド)、RIM. ARK (リムアーク) 等のブランドにおいて新しいお客様に向けて拡充した商品が消費者ニーズを捉え、売上高が堅調に推移しましたが、ショッピングセンター (SC) を中心に店舗展開する AZUL BY MOUSSY (アズールバイマウジー) をはじめとするその他のブランドにおいて、トレンド要素を取り入れた新商品が消費者ニーズを捉えることができず、売上高が予想を下回りました。また、国内 EC 事業につきましては、下期において、他社 EC 売上がほぼ予想通りに推移したものの、自社 EC 売上は昨年 6 月に発生したシステムトラブルの影響が第 3 四半期まで残り、EC 売上高は予想を下回りました。以上を主たる要因として、連結売上高は前回の予想を 890 百万円下回る見込みとなりました。

また、下期においては、サプライチェーンマネジメント（SCM）改革の成果により商品仕入原価は抑制できたものの、売上高が予想を下回って推移したことに伴い、在庫消化のための値引率の上昇等の要因により、売上総利益率が3.4%低下しました。この結果、売上高減少による連結売上総利益の低下505百万円とあわせ、連結売上総利益は予想を1,776百万円下回る見込みであります。

さらに、上期におけるテレビCMの実施、出店に伴う人員増、商品点数の増加に伴う物流効率の悪化等による売上高販管費率の上昇に対し、下期は宣伝広告施策の見直し、人員の効率化、商品の計画配送による物流の効率化等に取り組み、連結販管費は、予想を852百万円下回りましたが、売上総利益の減少を補うことができず、営業利益は予想を922百万円下回る見込みであります。

営業外収益および営業外費用については、下期において、持分法投資利益が266百万円予想を下回る影響等により、予想に対し196百万円の悪化要因となる見込みです。

以上の要因により、親会社株主に帰属する当期純利益を972百万円下方修正させていただきます。

なお、年間配当予想については、株主の皆様に対して安定的に配当を継続していくことを重視していることから、一株当たり38円のまま据え置いております。

（注）上記業績予想については、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上